# サイクルコンピューター
# *SC-6502/SC-6501/SC-M500*

## もくじ

**1. 表示モード** ..... 115

**2. 表示内容** ..... 116

**3. 各部の名称と機能** ..... 118

- 走行速度（VEL）..... 119
- 段数表示（bar） • 時刻表示（CLK）
- 走行時間(TIM)グループ(TIM, DST, MAX, AVE) .... 120
- ペースアロー
- 積算距離（ODO）..... 121
- ストップウォッチ（STW）グループ
- ケイデンス（rpm）..... 122
- メイン表示ケイデンス（VEL） • ラップカウンター（CNT）
- デジタル歯数表示（F-R）..... 123
- ローバッテリー表示（LO BAT） • 節電機能

**4. 入力データーの変更と使用自転車番号の変更** ..... 124

**5. メインユニット取り外し時の走行記録の確認** ..... 125

**6. 誤差** ..... 125

**7. 取付け** ..... 126

**8. データーの入力** ..... 127

**電池の交換方法** ..... 133

**トラブルシューティング** ..... 134

**⚠ 警告**

**走行中はサイクルコンピューターの数値表示に目を奪われないでください。**
**転倒事故等の恐れがあります。**

## 仕様

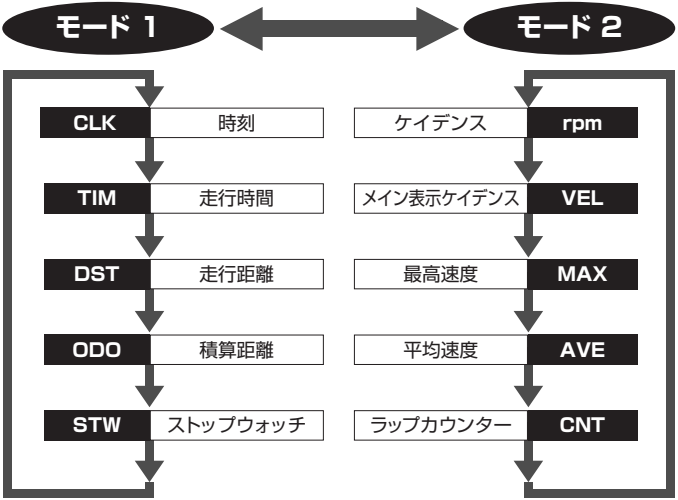
| メーター | SC-6502 | SC-6501 / SC-M500 | | |
|---|---|---|---|---|
| ブラケット/センサーユニット | SM-SC70 | SM-6501 | SM-6501-MD | SM-6501-M |
| STIレバー | ST-7800<br>ST-6600<br>ST-6603 | ST-7700-C<br>ST-6510<br>ST-5500-CA<br>ST-4400<br>ST-3300/3303 | ST-M510<br>SL-M510 | ST-M952 SL-M952<br>ST-M750 SL-M750<br>ST-M570 SL-M570 |

## 使用上の注意

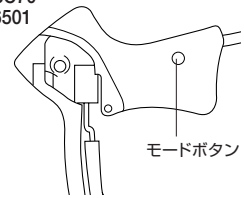
* オールクリアースイッチ（AC）はメインユニットの記憶を消去するスイッチです。
* 再組立が出来ませんのでメインユニットを分解しないでください。
* メインユニットは雨間走行に耐える防水設計になっていますが、水中につけないでください。
* 炎天下にメインユニットを放置しないでください。
* メインユニットは丁寧に扱い衝撃を与えないでください。
* メインユニット、センサー部の表面を傷めますので、清掃にシンナー等を使用しないでください。
* 清掃は薄めの中性洗剤を含ませた布でふいてください。
* SM-6501/M/MD と他社製 LED ランプを併用した場合、速度計測機能が働かない場合があります。
  併用される場合は SM-6500-RS をお勧めします。

# 1. 表示モード

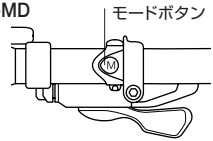
走行速度とバー段数表示は常時表示されています。



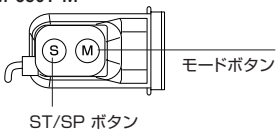

SM-SC70
SM-6501




SM-6501-MD




SM-6501-M




モードボタンを１回
押します。

モードボタンを２秒以上
押します。

# 2. 表示内容

## モード 1

走行速度
(VEL)

時刻
(CLK)

走行時間
(TIM)

走行距離
(DST)

積算距離
(ODO)

ストップウォッチ

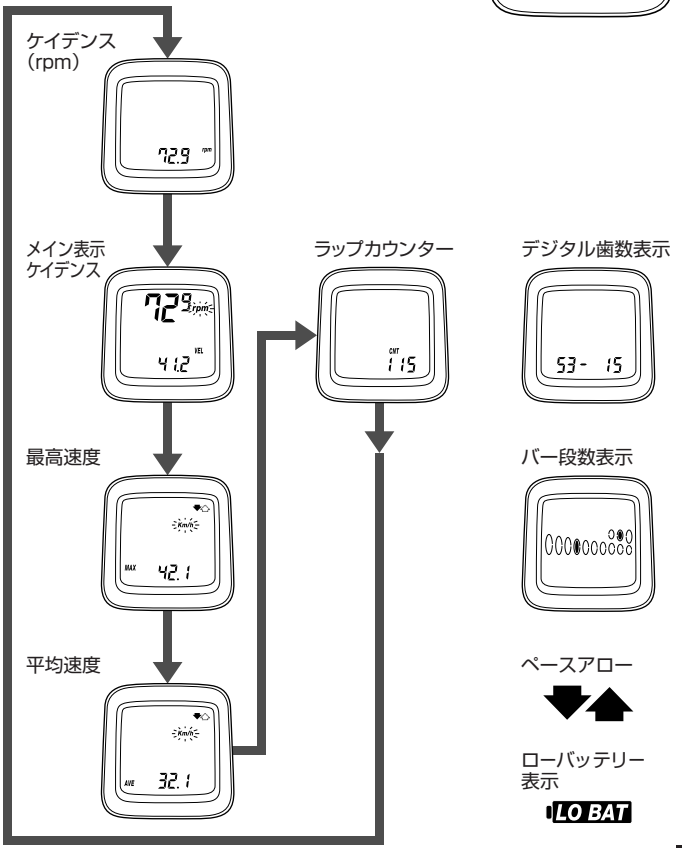
ストップウォッチ
走行距離
(DST, STW)

ストップウォッチ
平均速度
(AVE, STW)

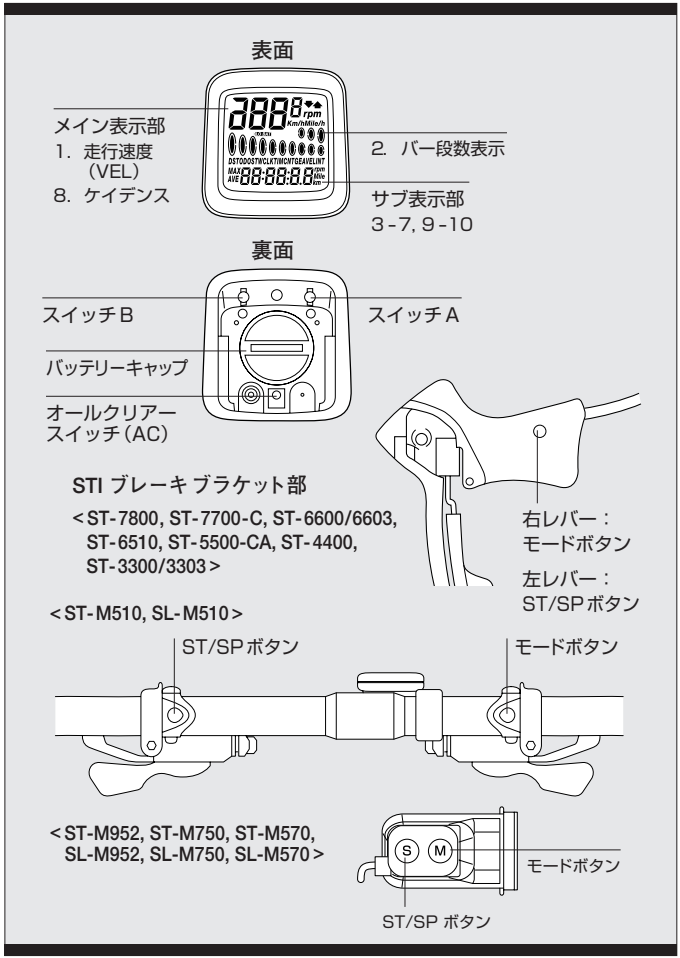
ストップウォッチ
最高速度
(MAX, STW)

## モード 2

rpm
Km/h
Mile/h
DST
ODO
ST
WCL
KT
IM
CNT
GE
AVE
LINT
MAX
AVE
rpm
Mile
km


ケイデンス
(rpm)
72.9
メイン表示
ケイデンス
72.9
41.2
ラップカウンター
CNT
115
デジタル歯数表示
53 - 15
最高速度
MAX
42.1
バー段数表示
平均速度
AVE
32.1
ペースアロー
ローバッテリー
表示
LO BAT

# 3. 各部の名称と機能

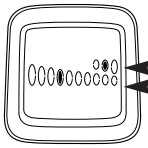

表面
メイン表示部
1. 走行速度
（VEL）
8. ケイデンス
2. バー段数表示
サブ表示部
3-7, 9-10
裏面
スイッチB
スイッチA
バッテリーキャップ
オールクリアー
スイッチ（AC）
STI ブレーキブラケット部
<ST-7800, ST-7700-C, ST-6600/6603,
ST-6510, ST-5500-CA, ST-4400,
ST-3300/3303>
右レバー：
モードボタン
左レバー：
ST/SPボタン
<ST-M510, SL-M510>
ST/SPボタン
モードボタン
<ST-M952, ST-M750, ST-M570,
SL-M952, SL-M750, SL-M570>
S
M
モードボタン
ST/SP ボタン

## （1）走行速度（VEL）

km/h, mph

0.0 (2.0) - 130.0km/h
0.0 (1.2) - 80.0mph （表示範囲）
走行速度はメイン表示に表示されます。

## （2）段数表示（バー）



フロント側表示

ダブルの場合はローの位置 ···· ●○
トリプルの場合はミドルの位置·· ○●○
シングルの場合 ·····●

リア側表示

段数表示（バー）は表示しない設定にした場合とセンサーコードがつながれていない場合には表示されません。

小さい方 ·····トップ側
大きい方 ·····ロー側
を示しています。

10段の場合の7枚目····· ○○○●○○○○○
9段の場合の7枚目····· ○○●○○○○○
8段の場合の7枚目····· ○●○○○○○
7段の場合の7枚目····· ●○○○○○

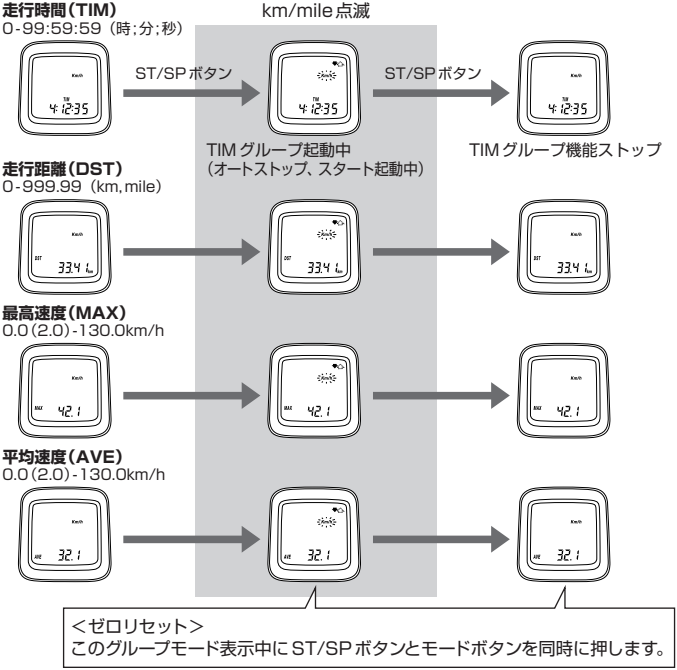
## （3）時刻表示（CLK）

24時間時計

時刻表示はモードの切り替えをした場合と節電機能が作動している時に表示されます。

## （4）走行時間（TIM）グループ（TIM, DST, MAX, AVE）

このグループには走行時間、走行距離、最高速度、平均速度表示の機能があり、モードボタンでこのグループを表示させST/SPボタンで起動させます。




### ペースアロー

走行時間（TIM）グループが作動しているとき作動します。上向きの矢印は現在の走行速度が平均速度より速いことを示し、下向きの時は遅いことを示します。

### ご注意

- 平均速度（AVE）表示には走行開始後約10秒間必要です。
- 走行時間（TIM）が100時間を超えるか、走行距離（DST）が1,000kmを超えると、走行時間（TIM）と走行距離（DST）の値はゼロに戻り計測を続けますが、平均速度（AVE）が“ER”表示になります。この状態を解除するにはゼロリセットを行ってください。但し、それまでの計測値はリセットされます。

## （5）積算距離（ODO）

0-99999.9 km, mile

積算距離を表示します。

## （6）ストップウォッチ（STW）グループ

このグループはストップウォッチが作動している時の走行距離、平均速度、最高速度を計測します。
ストップウォッチの起動はST/SPボタンを押します。もう一度ST/SPボタンを押すと停止します。
ストップウォッチ起動中は（STW）表示が点滅します。
ストップウォッチ走行距離（DST/STW）はストップウォッチ作動中の走行距離を計測し、ストップウォッチ平均速度（AVE/STW）は平均速度、最高速度（MAX/STW）は最高速度を計測します。

**＜ 起動と停止 ＞**

モードボタン、
（STW）グループ
モードを表示

ST/SP
ボタン

**起　動**

ST/SP ボタン

**停　止**

ST/SP ボタン、
モードボタン同時

**ゼロリセット**

**ご注意**

- ストップウォッチが作動している時のみの機能です。
- 走行時間（TIM）グループが同時に作動しているときには走行距離（DST）、平均速度（AVE）、最高速度（MAX）は表示されませんがいずれも計測されています。

**ストップウォッチ**
**（STW）**
0.0-90:00（分, 秒）

**ストップウォッチ**
**走行距離（DST,STW）**
km mile

**ストップウォッチ**
**平均速度（AVE,STW）**
km/h mile/h

**ストップウォッチ**
**最高速度（MAX, STW）**
km/h mile/h

スイッチB

## （7）ケイデンス（rpm）

ケイデンス（1分間のクランク回転数）は前後ギア歯数と走行速度から計算されます。

**ご注意**

- 前後ギア歯数と走行速度から計算されますのでクランクの回転を止めても自転車の走行中は表示されます。

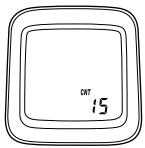
## （8）メイン表示ケイデンス（VEL）

ケイデンス（rpm）がメイン表示に表示されます。この時、走行速度はサブ表示に表示されます。

メイン表示にケイデンス

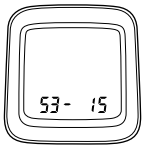
サブ表示に走行速度

## （9）ラップカウンター（CNT）




周回数などを数える時に使用します。カウンター表示にしてST/SPボタンを押してください。
ゼロリセットはモードボタンとST/SPボタンを同時に押してください。

## （10）デジタル歯数表示（F-R）




変速が行われた時に約２秒間表示されます。
そのあと初めの表示に戻ります。

## （11）ローバッテリー表示（LO BAT）

電池の容量が減ってきたときに点滅します。速やかに電池の交換を行ってください。

## （12）節電機能

センサーからの信号、あるいはボタン操作が30分間無い場合節電機能が働き表示が時刻表示（CLK）のみになります。

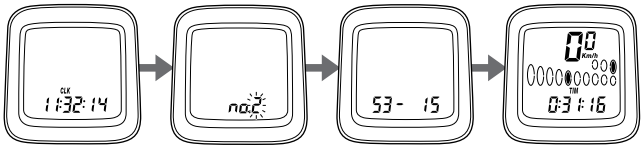
**節電機能の解除**

スイッチＡあるいはスイッチＢを押して通常の表示に戻ります。

**ご注意**

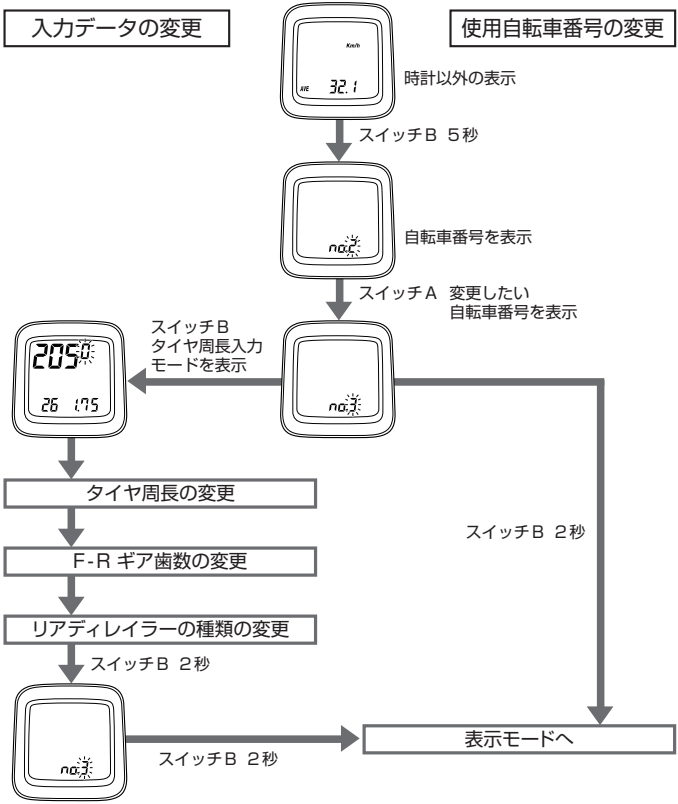
- ストップウォッチ（STW）が作動中に節電機能が働いてもストップウォッチは止まらずに作動しています。
  また、ストップウォッチは90分たつと停止します。

スイッチＡあるいはＢ




使用自転車表示　ギア歯数表示　表示モード

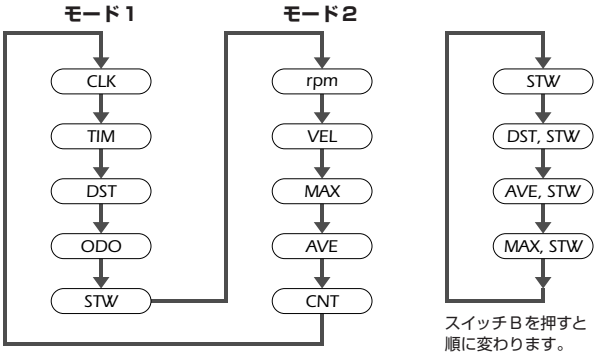
# 4. 入力データーの変更と使用自転車番号の変更




- 8. データ入力の項を参照してください。
- 時刻の変更の場合は時刻（CLK）をサブ表示にだし、スイッチBを5秒以上押して時刻入力の設定にはいってください。
- 入力データーの変更をしてもこれまでの記録（全走行距離、走行距離等）は保持されます。

# 5. メインユニット取り外し時の走行記録の確認

メインユニットを自転車から取り外しても走行記録を確認出来ます。




# 6. 誤差

| | |
|---|---|
| 走行速度（VEL） | ± 1% |
| 走行距離（DST）、積算距離（ODO） | 0.05% |
| 時刻（CLK） | 30PPM（1ヵ月に5分以内） |
| ストップウォッチ（STW）、走行時間（TIM） | 50PPM |

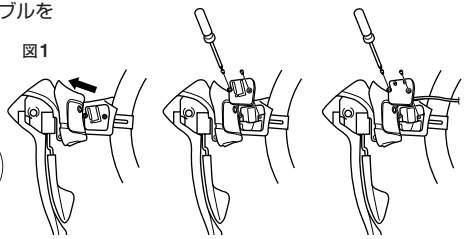
# 7. 取付け

レバーをハンドルバーに取り付けます。STIレバーの取扱い説明書に従って
ブレーキと変速の調整をおこなってください

### (1)シグナルケーブルの取付け (SM-SC70/SM-6501)

図1の様にシグナルケーブルを
取り付けてください。

図1



締め付けトルク:
0.3 - 0.5 N・m
{3 - 5 kgf・cm}

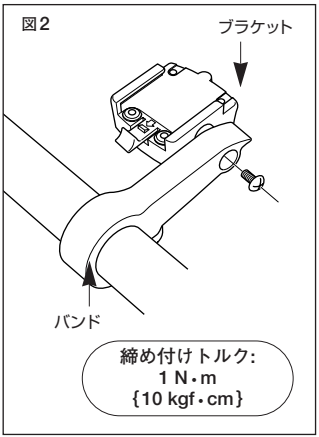
※ SM-6501-M, SM-6501-MDは、添付の取扱い説明書をご参照ください。

### (2)コンピューターの取付け

図2の様にブラケットとバンドを取
り付けてください。

SM-SC70/SM-6501
シグナルケーブルをハンドルバー
にテープで固定してください。

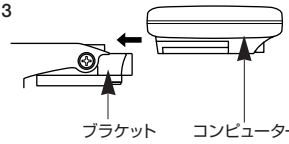
図2




### (3)

図3の様にコンピューターをブラケ
ットにパチッと音がするまで確実に
セットしてください。

図3




SM-SC70/SM-6501
このあとバーテープを巻いてブレーキケーブルと
シグナルケーブルをハンドルバーに固定してください。

**(4)磁石とセンサーの取付け**

図４の様に前輪の右側の磁石をドライバーを使って仮固定してください。
図５の様にセンサーにパッドを入れて仮固定してください。
（フロントフォークの取付け可能径は11-35mmです）
図の様にセンサーの線上に磁石を置きセンサーの線と磁石との距離が1-5mmになるように調整しセンサーと磁石を固定してください。

メーターとセンサーの距離は
上下　50cm
左右　10cm
以内の位置に設定してください。

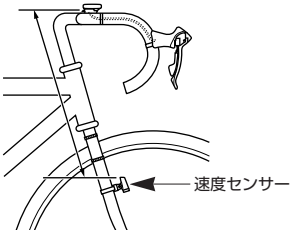



図4

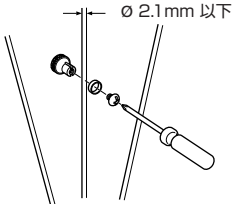
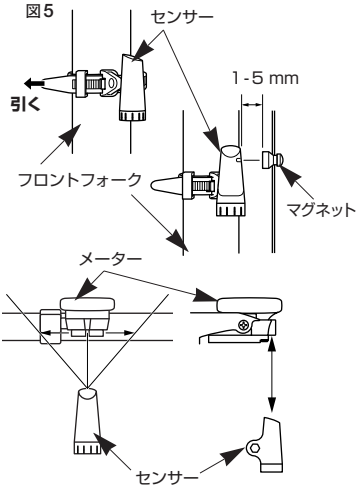



図5



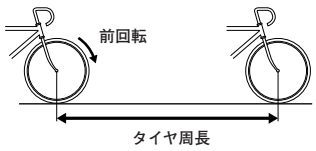

# 8. データーの入力（※4台分のデータが入力可能）

| | |
|---|---|
| 1. キロかマイル | 4. 前後ギアの歯数※ |
| 2. ODOデーター | 5. 後変速機のタイプ※ |
| 3. タイヤ周長※ | 6. 現在の時刻 |

あらかじめタイヤ周長の測定と前後ギア歯数の確認をしておいてください。

タイヤ周長はタイヤの空気圧を適正にし、タイヤ接地面に印をつけ乗車した状態で前タイヤを１回転させ路面上の２点間の距離を測定し5mm単位で決定してください。

例
2028-2032mm ….2030mm
2033-2037mm ….2035mm
2038-2042mm ….2040mm




前ギアはシングル、ダブル、トリプル仕様か

例　53 ….シングル　53x39 ….ダブル　48x38x28 ….トリプル

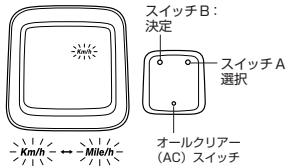
後ギアは７段か８段か
９段か10段

例
12,13,14,15,16,17,18,19,21,23 …10 段
12,13,14,15,16,17,19,21,23 ……. 9 段

### （1）速度単位の決定

“AC”スイッチを押すと図６の様な表示になりkm/hが点滅します。スイッチ“A”を押してkm/h、Mile/hのどちらかを選択しスイッチ“B”を２秒以上押して決定してください。

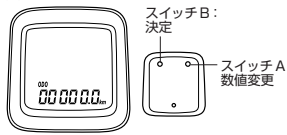
図6




### （2）ODOデーターの入力

表示が図７の様にかわります。
各桁共スイッチAを押して数字を表示しスイッチBで決定し小数点１ケタの入力後スイッチBを2秒押して下さい。
入力しない場合は図７の状態でスイッチBを２秒押してください。

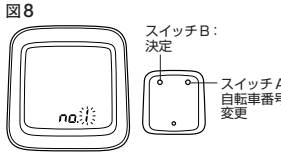
図7



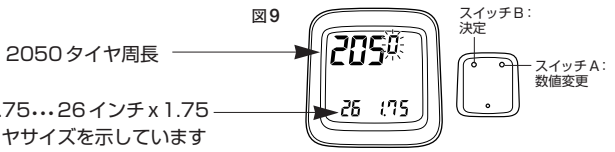

### （3）タイヤ周長の入力

表示が図８の様にかわります。スイッチAを押してデーターを入力する自転車番号を表示させ、スイッチBを２秒以上押してください。あらかじめ登録されている歯数の関係上、ロード系は自転車番号１か2、MTB系は自転車番号３か４をおすすめします。

図8



表示が図９の様に変わりますのであらかじめ測定した値を入力してください。




“A”スイッチを１回押すと5mmずつ数値が上がります。“A”スイッチを押し続けると数値が連続して上がります。
入力したい数値が表示されたらスイッチ“B”を２秒以上押して決定してください。
2,050mmより小さい値を入力する場合はまずスイッチ“A”を押し続けてください。
数値が2400mmまで上がったあと1,300mmに変わります。このあとスイッチ“A”を押して入力したい値を表示させスイッチ“B”を２秒以上押して決定してください。
タイヤサイズの表示は26 x 1.75以外に１８種類表示されます。

**下記のタイヤサイズ以外は表示されません。**

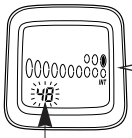
| ETRTO | メイン表示 | サブ表示 | ETRTO | メイン表示 | サブ表示 |
|---|---|---|---|---|---|
| 23-571 | 1970 | 26 1.00 | 57-559 | 2095 | 26 2.20 |
| 32-584 | 2005 | 26 1.40 | 40-584 | 2100 | 26 1-1/2 |
| 40-559 | 2030 | 26 1.50 | 54-571 | 2100 | 26 2.35 |
| 47-559 | 2050 | 26 1.75 | 20-622 | 2100 | 700 20 |
| 18-622 | 2070 | 700 18 | 23-622 | 2105 | 700 23 |
| 50-559 | 2070 | 26 1.90 | 25-622 | 2115 | 700 25 |
| 37-590 | 2075 | 26 1-3/8 | 28-622 | 2135 | 700 28 |
| 47-559 | 2075 | 26 1.95 | 57-559 | 2260 | 26 2-1/8 |
| 54-559 | 2085 | 26 2.00 | | | |
| 19-622 | 2090 | 700 19 | | | |
| 54-559 | 2090 | 26 2.10 | | | |

※リストでタイヤ周長が同じ場合は交互にタイヤサイズが表示されます。

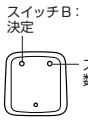
### (4)前後ギア歯数の入力

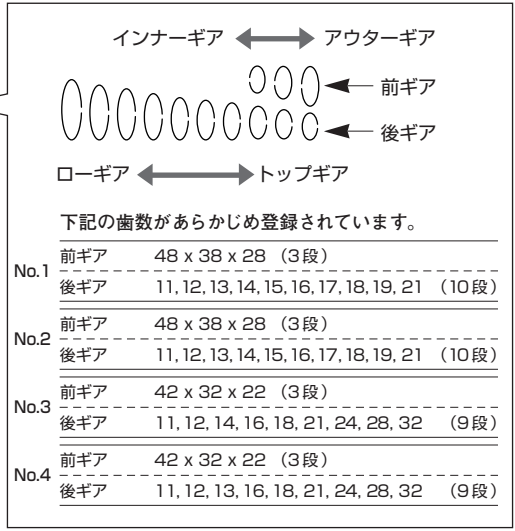
図10の様に表示が変わります。

図10




アウターギアの歯数



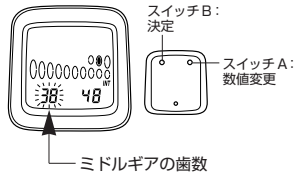

下記の歯数があらかじめ登録されています。

| | | |
|---|---|---|
| No.1 | 前ギア | 48 x 38 x 28 （3段） |
| | 後ギア | 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21 （10段） |
| No.2 | 前ギア | 48 x 38 x 28 （3段） |
| | 後ギア | 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 21 （10段） |
| No.3 | 前ギア | 42 x 32 x 22 （3段） |
| | 後ギア | 11, 12, 14, 16, 18, 21, 24, 28, 32 （9段） |
| No.4 | 前ギア | 42 x 32 x 22 （3段） |
| | 後ギア | 11, 12, 13, 16, 18, 21, 24, 28, 32 （9段） |

アウターギアの歯数から入力していきます。まず“48”(No.3、4の入力の時は“42”）が表示され点滅します。
スイッチ“A”で入力したい数値を表示しスイッチ“B”を押して決定してください。(設定範囲：60-40)
“--”表示が5回に1回表示されます。段数表示が必要でない場合はこの表示のときにスイッチ“B”を押して決定してください。

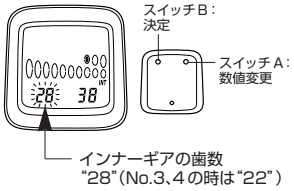
スイッチ“A”を2秒以上押すと数値が連続して変わります。
アウターギアを決定すると表示は図11の様に変わります。シングルギアの場合は“--”を表示させスイッチBを押します。

図11



次にインナーギア（ダブルギアの場合）あるいはミドルギア（トリプルギアの場合）の歯数を入力します。
“38”（No.3、4の時は“32”）が表示され点滅します。アウターギアの入力、決定と同じ方法で設定してください。
設定出来る範囲は20-50です。
インナーギアあるいはミドルギアを決定すると表示は図12の様に変わります。

図12

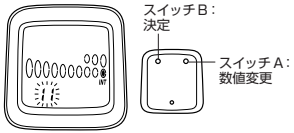



ダブルギアの場合はスイッチ“A”を押して“--”を表示させスイッチ“B”を押して決定します。（**ご注意：スイッチBは押すだけです。2秒押してしまうと次の後変速機のタイプ入力に移ってしまいます。**）
フロントチェインホイールはダブル仕様として登録され後ギアの歯数入力に移ります。
トリプルギアの場合はインナーギアの歯数を入力し決定してください。設定方法はミドルギアの方法と同じで設定範囲は15-34です

後ギアの歯数を入力します。

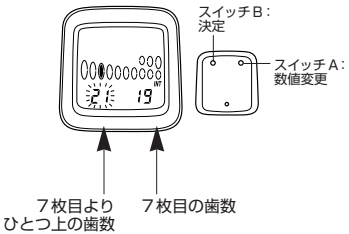
図13の様に表示が変わり“11”が点滅します。

図13




前ギアの設定と同じ方法で後ギアの歯数を入力してください。
スイッチ“A”を押して数値を表示しスイッチ“B”で決定してください。
設定範囲は11から42です。
最小ギアから7枚目までの数値を設定すると図14の様に表示が変わります

図14

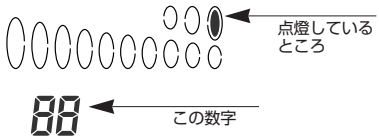


後ギアが７段の時はスイッチ“A”を押して“--”を表示させ、スイッチ“B”を１回押してください。
コンピューターには後ギアが７段であることが登録され、ギア歯数の入力は完了です。

後ギアが８段の時は８枚目の歯数を入力して決定し“--”表示させてスイッチ“B”を１回押してください。
９段の場合は９枚目の歯数を入力して決定してください。
10段の場合は 10枚目の歯数を入力して決定してください。

**入力した数値の確認**

後ギアの入力が完了すると表示は前ギア入力の表示に変わります。
スイッチ“B”を押して入力した数値が正しいかどうか再確認してください。
スイッチ“B”を１回ずつ押して入力した数値と段数表示が一致しているかどうか順番に確認してください。
入力した数値が全て正しい場合はスイッチ“B”を2秒以上押して次の入力手順に進んでください。



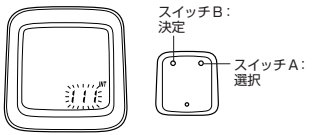

**(5)後変速機のタイプの入力**

図 15の様に表示が変わり“111”が点滅します。スイッチ“A”を押して“111”と“222”のどちらかを選択しスイッチ“B”を押して決定し次の入力手順に進んでください。

| |
|---|
| 111 …… 普通の変速機 |
| 222 …… ラピッドライズ変速機（逆スプリングタイプ） |

スイッチ“B”を２秒以上押して決定し最後の時刻入力に進みます。

図15




**(6)時刻設定**（24時間時計）

図 16の様に表示が変わります。

現在の時刻より１分後の時刻にあわせてください。

図16

［例　10:46:23 の場合 ····· 10:47: - -
　　13:59:16 の場合 ····· 14:00: - - ］

“スイッチ“A”を押すと時間表示が変わります。スイッチ“A”を押し続けると連続して変わります。スイッチ“B”を1回押して決定してください。図17の様に分表示が点滅します。
時間設定と同じ方法で分を設定すると時計が動き出します。

図17

別の自転車番号のデーターを入力する場合は、CLK 以外をサブ表示に表示させてスイッチBを5秒以上押して、入力する自転車番号をスイッチAを押して表示させてから、スイッチBを押して、［4. 入力データーの変更］の手順に従って入力してください。

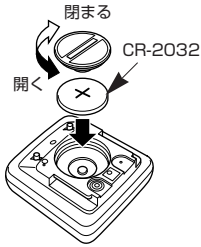
## 時計のリセット方法

時刻(CLK)をサブ表示に表示させてスイッチ“B”を5秒以上押して時刻入力の設定に入ります。

## 電池の交換方法

- **メーター（使用電池CR-2032）**
  図18の様に+側が見えるように入れ、バッテリーキャップを締めてください。
  購入時に装着されている電池は、モニター用電池です。
  ローバッテリー表示 LO BAT が表示された時は、すみやかに交換してください。

図18




- **センサー（使用電池LR44）**
  図19の様に + 側が見えるように入れ、バッテリーキャップを締めてください。

**ご注意**

- ローバッテリーの表示がないにもかかわらず速度が正しく表示されない場合はセンサーの電池を交換してください。

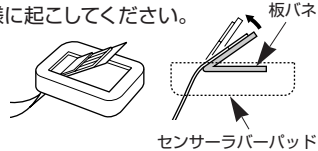
図19

**⚠ 警告**

使用済みの電池は子供の手の届かないようにし、法令に定められた方法で処理してください。
誤って飲み込んだ場合はただちに医師の手当てを受けてください。

# トラブルシューティング

| 症 状 | 対 策 |
|---|---|
| ■スピード表示が出ない | ● 速度センサーとメインユニットの位置（距離、向き）が正しいかどうか確認します。<br>● 速度センサーと磁石の位置が正しいかどうか確認します。<br>● メインユニットがブラケットに正しく固定されているか確認します。 |
| ■表示が出ない、薄くなる | ● メインユニットの接触不良、あるいは電池の消耗の為。メインユニットの電池を新しい電池と交換します。 |
| ■異常データーが表示される | ● A/Cボタンを押しデーターの再入力を行います。 |
| ■表示面が黒ずむ | ● 炎天下に放置された等でメインユニットを高温、及び直射日光に長時間さらした為、ユニットを日陰に入れて冷ますともとに戻ります。 |
| ■データー表示の動きが鈍くなる | ● コンピューターの作動温度範囲は–10度Cから50度Cです。<br>–10度Cより低くなっていませんか。 |
| ■バー段数表示が正しく表示されない | ● センサーを取付けている板バネを図の様に起こしてください。 |



**製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。**

お客様相談窓口
☎ 0570-031961

株式会社シマノ
大阪府堺市堺区老松町3丁77番地